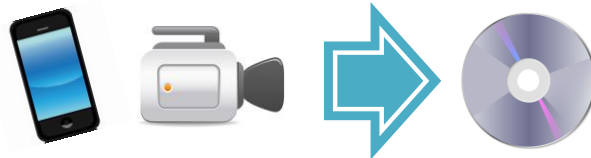


# 京もの認定工芸士PRビデオ撮影要項

- 若手職人「京もの認定工芸士」認定審査機関である「京都府伝統と文化のものづくり産業振興審議会表彰等審査部会」にて、**審査当日に上映します。**
- 原則、**京都府職員が撮影のために工房等を訪問し、撮影内容を編集します。**
- 応募者各自が撮影して、**2分程度に編集したDVD等を提出することも可能です。**  
※2分程度を大きく超過するビデオについては、全てを上映できませんのでご注意ください。

## <撮影内容について>



### 1. 自己紹介(30秒程度)

下記例を参考に、撮影します。

#### ●「指定工芸品名(携わっている職種/工程)」及び「氏名」

(例)西陣織の「製織」の工程に携わっている、「工芸太郎」です。

#### ●「実務経験」

(例1)□□工房で、西陣織「製織」に従事して○年になります。

(例2)京都伝統工芸大学校で○年間「京漆器」を学び、卒業後、独立して京漆器の漆塗りに従事し、○年になります。

(例3)京都伝統工芸大学校で○年間「京指物」を学び、卒業後、△△県で○年間修行を行った後、京都市内で工房を開き、○年になります。

#### ●「これまでの産地振興への取組」、「今後の技術向上、技術継承、産地振興への抱負」等

(例)・○○組合の青年部に所属し、展示会への出展を積極的に行い、技術向上に努めています。

・師匠や先輩の技術を見て、日々技術研鑽に取り組むとともに、美術館に出掛けて、昔の職人が手掛けた作品や日本画から意匠の勉強をしたりしています。

・茶道教室に通うなど、京表具と関わりの深い伝統文化を学び、作品づくりに役立てています。

・○○が主催する制作実演に参加したり、△△小学校の社会人講師として、京焼・清水焼の普及啓発に取り組んだりしています。 等

### 2. 応募作品の制作工程(90秒程度)

#### ●応募作品の制作の様子

全ての工程を撮影しませんが、ご自身が特にアピールしたい技術・工程について撮影させてください。あわせて、応募作品の「作品名」、「用途」、「意匠」、「デザイン」、「特徴」、「特に配慮した点」、「アピールしたいところ」等についてご説明ください。

(例1)今回応募した作品は、「○○紋壺」という作品名の「花器」です。

意匠は、○○の特徴的な形状に、四季の草花を△△紋の中に配したもので、参考となる意匠が多いことから、普段から勉強のためよく制作しています。

○○の形状に仕上げるには、●●の工程で非常に繊細に◇◇を施す必要がありますが、慎重になりすぎると全体のバランスが崩れるため、繊細ながらも大胆なデザインを失わないよう心がけました。

四季の草花は、◆◆の技法を用いて描きました。特に、■■の花は、◆◆の技法である◎◎をうまく生かしたのではないかと思います。

(例2)今回制作した作品は、小ぶりの□□ですが、▼▼などの大きな●●も制作しています。

PR時間は2分程度ですが、時間に余裕がある場合のみ、応募作品以外の制作物についてPRをすることも可能です。